備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成24年度事業）

事業の概要

事業開始年度	昭和３１年度～	根拠法令・例規等	都市公園法
総合計画 大項目 基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり	問合先 担当課（室）	都市整備課
中項目 基本施策	01 生活しやすいまちづくり	職・氏名	都市建築係長　藤原雅弘
小項目 施策	07 公園緑地	電話	０８６９－６４－１８３４
事務事業名	01 公園管理事業	このシート作成に要した時間	1.5 時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	公園利用者
目的（何のために）	都市公園等の適正な維持管理を行うことによって、公園利用者の安全と利便性の向上を図るため
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	安全で安心して利用できる公園

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
公園維持管理事業	備前前区域の都市公園について、道路の点検・補修、樹木の管理、清掃など公園を維持管理する業務	○
頭島グランドゴルフ場管理運営事業	頭島グランドゴルフ同好会を指定管理者とし、施設の維持管理、予約受付、利用者への指導・助言、料金徴収、運営を委託している。	○
公園整備事業	都市公園について、全体計画や公園施設の新設、整備に関する事務	▲

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
事業費	直接事業費	千円	4,992	4,344	6,149
	必要人員 人件費		0.17人 1,590	0.17人 1,596	0.20人 1,387
	事業費計		6,582	5,940	7,536
決算額 財源	国県支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他（　）				
	一般財源		6,582	5,940	7,536
受益者負担比率		%	－	－	－

結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	都市公園等の年間施設点検回数	説明			
	結果指標量	回	36	36	36
	対前年比	%	－	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	6,582,000	5,940,000	7,536,000
	単位当たりコスト		182,833	165,000	209,333

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

事業の成果

成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
公園内事故件数	目標値（A）	0	0	0	0
	実績値（B）	0	0	0	到達目標値
	達成率（B/A）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0

成果指標設定の考え方・式や説明

公園利用者からの報告

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性・必要性

- ■ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- ■ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- ■ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高い／B やや高い／C 普通／D やや低い／E 低い）：**B**

効率性の評価

コスト手段

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ■ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ■ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高い／B やや高い／C 普通／D やや低い／E 低い）：**B**

有効性の評価

目的達成度 市民参画度

- ■ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- □ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- □ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- ■ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高い／B やや高い／C 普通／D やや低い／E 低い）：**B**

進行年度（H25年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：２５年度は公園施設長寿命化計画を策定する予定であり、今後はこの計画に基づき適切な維持管理と施設の延命化を図っていく。

総合評価

安全な公園を目指し、遊具等の安全点検を公園管理マニアルに基づき、定期的に実施するとともに、清掃（除草）作業について、市民協議による管理と公園利用者の公共意識向上を図ることを目標とする。

総合評価（A 高い／B やや高い／C 普通／D やや低い／E 低い）：**B**

Action

平成26年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：２５年度に公園施設長寿命化計画を策定する予定であり、この計画に基づき適切な維持管理と施設の延命化を図っていくとともに、災害時の物資備蓄や避難所等防災機能を備えた公園の整備も検討していく。